

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	民間保育所整備助成事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	2	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	幼児保育課			
施策	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	担当課室長	斉藤 薫			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成27年度以降は、引き続き運営費の補助を行っていく。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	高まる保育需要に対応するため、引き続き民間保育所の誘致を進める必要がある。
②①に基づく取り組み結果	引き続き運営費の補助を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	社会福祉法人1法人	意図(対象をどうするのか)	安定運営により子育て支援を行う。
②事務事業の概要	待機児童解消のため、民間保育所を誘致し、保育所の整備に必要な助成を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	保育所等の利用を希望する保護者が増加し、計画以上の利用申込みがあり、待機児童が発生している。また、新たな民間保育所等の誘致のニーズは高まっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	年度内に保育所の整備が終了し、保育所の定員が90名増加し、平成28年4月待機児童ゼロを達成できた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	待機児童数		45	21	18	人	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	51,000	172,623	金額(千円)	内容	184,587		
国支出金(千円)			172,623	補助金			
県支出金(千円)	45,333	132,623					
市債その他(千円)		40,000					
一般財源(千円)	5,667	0					

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	保育需要の増大に対応するため、民間保育所の整備を進め、待機児童の解消を図る必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	平成28年4月待機児童ゼロを達成することができたが、継続して待機児童解消を図るため民間保育所の整備が必要である。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	民間保育所の整備	平成27年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	民間保育所を整備し、定員90名の拡大を図った。	172,623	172,623	当初	187,039	172,623	H26からの繰越
				補正	-14,416		現年分
③達成状況	完了			流用・充当			
④未完了・非着手の理由		平成28年度への繰越額				0	

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	地域型保育整備助成事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	2	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	幼児保育課			
施策	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	担当課室長	斉藤 薫			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成27年度以降は、引き続き運営費の補助を行っていく。	③平成28年度に取組む改革・改善内容	平成28年度以降も、地域型保育事業を整備するとともに、運営費の補助を行っていく必要がある。
②①に基づく取組み結果	引き続き運営費の補助を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	整備:株式会社等 運営費:地域型保育事業者	意図(対象をどうするのか)	安定運営により子育て支援を行う。
②事務事業の概要	待機児童解消を図るため、地域型保育事業1施設を公募により整備し、改修費等の助成を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	保育所等の利用を希望する保護者が増加し、特に3歳未満児の需要が高まっているため、新たな地域型保育事業の整備が必要である。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	地域型保育事業1施設の公募を行い、定員19名を確保し増加し、待機児童解消につなげることができた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	待機児童数	45	21	18	人	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	28,598	176,845	金額(千円)	内容	265,085		
	国支出金(千円)	34,541	138,982	給付費			
	県支出金(千円)	24,658	37,858	補助金			
	市債その他(千円)	30,000					
	一般財源(千円)	3,940	12,991				

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	3歳未満児の保育需要が高く、利用申込みが増加しているため、さらなる地域型保育事業の整備が必要である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	待機児童解消のため、需要の高い3歳未満児を対象とする地域型保育事業を整備する必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	地域型保育事業の整備・助成	平成27年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	地域型保育事業1ヶ所を整備し、定員19名を確保した。	217,828	217,828	当初	210,156	176,845	H26からの繰越
				H26⇒27繰越			
③達成状況	完了			補正	7,672		現年分
④未完了・非着手の理由				流用・充当			176,845
		平成28年度への繰越額					

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市立保育園の管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	2	4	
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくれます	担当課室	幼児保育課			
施策	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	担当課室長	斉藤 薫			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	効率的な管理運営方法について、費用対効果も含め、引き続き検討を行う。	③平成28年度に取組む改革・改善内容	効率的な管理運営方法について、費用対効果も含め、引き続き検討を行う。
②①に基づく取組み結果	民間委託は行わず、現行どおり市直営の運営方法とし、保育サービスのあり方や費用対効果も含め、引き続き検討を行うこととした。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	公立保育園	意図(対象をどうするのか)	安全で安心な保育環境の維持及び拡大を図る。
②事務事業の概要	市立保育園が良好な保育環境を維持できるよう管理運営を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	入園希望児童数は増加傾向にあるとともに、多様な保育ニーズへの対応が求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	効率的な管理運営方法について、費用対効果も含め、引き続き検討を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	待機児童数	45	21	18	人	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	349,052	342,622	金額(千円)	内容	366,050		
国支出金(千円)	3,660	9,400	187,045	賃金	9,842		
県支出金(千円)	15,140	9,400	58,369	委託料	9,842		
市債その他(千円)	180,302	181,875			159,630		
一般財源(千円)	149,950	141,947			186,736		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	保育需要の増大から、積極的な入所を働きかけ、待機児童の解消を図る必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市立保育園の効率的な管理運営方法については、絶えず検討する必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績		当初		H26からの繰越		
		H26⇒27繰越				
③達成状況		補正		現年分		
④未完了・非着手の理由		流用・充当				
		平成28年度への繰越額				

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	保育園改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	2	4	○
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくれます	担当課室	幼児保育課			
施策	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	担当課室長	斉藤 薫			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成27年度評価開始事業	③平成28年度に取組む改革・改善内容	第3次実施計画に基づき事業を執行する。他園での工事を参考に工期の短縮、コストダウンを行う。
②①に基づく取組み結果	平成27年度評価開始事業		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	公立保育園	意図(対象をどうするのか)	安全で安心な保育環境の維持及び拡大を図る。
②事務事業の概要	市立保育園が良好な保育環境を維持できるよう施設の改修を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	施設の老朽化に伴い長寿命化を見据えた改修を実施する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	道野辺保育園トイレ改修工事の実施。H28実施予定の道野辺保育園給水管改修工事、栗野保育園機械室改修工事、鎌ヶ谷保育園トイレ及び遊戯室改修工事の設計委託の実施。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	事業実施率			16	%	第3次実施計画
	ii						総事業費95,623千円
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	0	15,584	金額(千円)	内容	70,111		
国支出金(千円)			4,558	工事設計委託			
県支出金(千円)			11,026	工事請負費			
市債その他(千円)		12,400			58,800		
一般財源(千円)	0	3,184			11,311		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	工事単価の高騰、施設老朽化に伴う実施計画外の緊急対策					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市立保育園の改修については、随時対応していく必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	改修工事及び実施設計	平成27年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	予定工事及び設計業務の実施	20,412	19,948	当初	18,212	15,584	H26からの繰越
				H26⇒27繰越			
③達成状況	完了			補正	2,200		現年分
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-464		
				平成28年度への繰越額			